

# 舵輪

第168号  
2023年 3月 発行



舵輪は(公財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

168号

1月24日から26日にかけて、10年に一度の大寒波が日本列島を襲うとニュースが取り沙汰されていましたが、海王丸ボランティアの皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。海王丸パークでの積雪は30cmほどですみましたが、気温の低下から船内から排出される汚水管が凍結し、一時排水ができないう状況になってしまいました。改めて、北陸の冬は厳しいものだと感じました。



本号では、近況報告と来年度のボランティア活動のお知らせをお伝えいたします。

## 甲板ボランティア

昨年11月から再開した甲板ボランティアはこれまでに6回開催され、多くのボランティアの皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございます。これまでは1枚目としてインナーシブのシーミング作業を行ってきましたが、作業が順調に進み、2枚目のアウターシブのシーミングに取り掛かろうとしております。今後につきましては、セイルシーミングだけでなく、帆船海王丸にかかわる様々な甲板作業についてボランティアの皆様にお手伝いいただければと考えております。海王丸ボランティアの皆様につきましては、「こんな作業をして



みたい」や「あんな作業を経験したい」などご要望がありましたら、海事課職員までお声掛けください。帆船海王丸のためにできることを皆さんと一緒にやっていきたいと考えております。



## フルハーネスの年次点検

先日、海事課職員にて、展帆作業に使用する墜落制止用器具（フルハーネス）の年次点検を行いました。約1年間使用したフルハーネスですが、予想していたよりも状態がよく、来年度も皆様が安全に作業できるように確認整備い



たしました。このフルハーネスにつきましては、使用前にもボランティアの皆様にご使用前点検をお願いしております。

今後は更衣室に点検用のファイルを用意し、各自で自己点検しやすい環境を整える等、更に安全に作業できるよう努めてまいります。フルハーネスにつきまして何かご不明な点違和感などありましたら、いつでも二等航海士まで、ご相談いただければと思います。

## 海王丸進水記念日

2月14日は帆船海王丸の進水記念日です。進水記念日とは、船の工事が進み、初めて水の上に浮いた日で、その船の誕生日とされています。皆さんご存じのとおり、帆船海王丸



は1930年2月14日に神戸にて進水誕生し、93歳となりました。船齢100年まであと7年。腐食や経年劣化による補修が必要なところも増えてまいりましたが、海事課一同、海王丸が元気に皆様の前にいられるよう整備を進めてまいりますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

海王丸パークでは、海王丸の進水を記念してパワーバレンタインウィークを開催しました。海王丸への乗船料割引や、チョコレートのプレゼント、船内ライブや夜間公開など様々なイベ



ントを行い、多くの皆様のご来場をいただきました。

## 富山と北前船と帆船

皆様は北前船をご存じでしょうか。北前船とは1639（寛永16）年に加賀藩が船のまま下関廻りで大坂（現・大阪）へ年貢米を直送したのが始まりの貿易船です。17世紀後半には幕府が日本海から下関経由で大坂につながる海運航路を西廻り航路として整備し、この富山からも年貢米を大坂に直送する廻米制が確立しました。



この廻船を用いて、富山の商人は、北は北海道と南は薩摩藩、またこの薩摩藩経由で中国とも貿易を行い、これらの貿易が富山の地を発展させ、現在の昆布文化、薬売り文化の元になったとされています。

廻船として使用されていたのが弁財船と呼ばれた帆装専用船で、逆風でも航行可能な船舶として当時では少ない人数で多くの荷物を積んで航行できる船舶として使用されました。この弁財船が日本海の荒波にも堪えることができるようにと改良されたものが北前船です。長きに渡り、海運でこの富山の地を支えてきたのは、帆船である北前船ということになります。

やがて北前船は汽船の誕生と共に衰退し、帆船の多くは艦船や練習船としてその用途を変えました。北前船の一部は今の富山高専射水キャンパスの元となった新湊町立新湊甲種商船学校の練習船として使用されたといわれており、帆船海王丸の祖先はまさにこの北前船であ

るといえます。

このように、富山と帆船は北前船を通して大きな関わりがあり、今日この地に帆船海王丸が係留されていることは非常に意味のあることであると感じます。



## ベンディングセイル

4月8日（土）と9日（日）はベンディングセイルを予定しております。併せて令和5年度海王丸ボランティアリフレッシュ訓練を実施いたします。詳細につきましては同封したリフレッシュ訓練の実施方案をご覧ください。ご参加いただける方は下記のQRコードからGoogle フォーム、又は、ボランティア専用フリーダイヤルにてお申込をお願いいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



たくさんのご参加  
お待ちしております



## 初回総帆展帆について

令和5年度初回の総帆展帆は4月30日(日)です。下記QRコードで初回総帆展帆へのご参加を募集いたしております。また、ベンディングセイル終了後にメール、ボランティア専用フリーダイヤルでもボランティア参加者を募集いたします。なお、今年度の初回参加時に同封しました展帆ボランティア健康状態確認表の提出をお願いいたします(リフレッシュ訓練の時でも構いません)。必ず前日までにご記入いただき受付時に2等航海士まで提出してください。円滑に受付が進みますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



## 今後の予定について

2023年	
4月 8日(土)	ベンディングセイル
9日(日)	(リフレッシュ訓練)
14日(金)	鯉のぼり掲揚式
30日(日)	総帆展帆①
5月 5日(金・祝)	親子展帆・満船飾
6日(土)	総帆展帆②
7日(日)	カッター教室
13日(土)	新規養成訓練①
14日(日)	//
28日(日)	総帆展帆③
6月 3日(土)	新規養成訓練②
4日(日)	//
11日(日)	総帆展帆④

## 編集後記

昨年10月の赴任以降、この富山の地に海王丸がなぜ係留されることとなったのか気になり、個人的に調査しました。富山商船高専の先生を中心とした海王丸保存の会が富山への誘致を呼び掛けたところからスタートしていますが、日本海的生活を支えてきた北前船と非常に関わりの深いものであることが分かり、帆船海王丸は故郷に帰るべくして帰ってきたような気がしております。これからも帆船海王丸の魅力について多くの皆さんに発信していきたいと思っております。(大)

舵輪 第168号  
発行日 2023年3月  
E-mail  
by-the-wind@kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団  
〒934-0023 富山県射水市海王町8番地  
TEL 0766-82-5181  
FAX 0766-82-5197  
URL <http://www.kaiwomaru.jp>